

## 26 ドイツの臨床神経学

Romberg から Erb まで

○高橋<sup>1)</sup> 昭、伊藤<sup>2)</sup> 泰広

臨床神経学は一九世紀の前半頃からヨーロッパにおいて開花し始めた。ドイツにおいては、1810年ベルリン大学の創立に伴い、ベルリン市に1710年創立の Pesthaus を創基として、市民病院 Bürgerhaus を経て1727年に慈善病院 Charité と改称された病院を同大学医学部に併置し、医療教育施設 Heil-und Lehranstalt と位置づけた。ベルリン大学創立の十年前の Charité 病院長にはイエナ大学から Christoph Wilhelm Hufeland が着任し、1810年大学病院となつてからは Johann Christian Reil が第一内科教授および同病院長の職に就任した。Hufeland は Charité に Poliklinik を設置し、その初代所長を兼任した。1837年には Poliklinik 内に基礎教育診療部 Propädeutische Klinik が開設され、神経系疾患患

者がここで診療を受けることになり、医学部学生に対する神経疾患の臨床教育が系統的に行なわれるようになった。Viets (1937) は、この Propädeutische Klinik の活動をもって大学における臨床神経学の創始としている。

この任に当たったのが Romberg である。

(一) Moritz Heinrich Romberg (1795~1873)

Romberg はベルリン大学医学部の前身である Medizinstudium an der Friederica Guiléma に入学し、ベルリン大学発足後は同大学内科および精神科教授 Johann Christian Reil (1759~1813) に師事した。Reil は神経解剖学の分野に名を残した学者であり、恐らく Reil を介して Romberg は神経病学も伝授されたものと思われる。Reil 教授はベルリン大学発足の僅か三年後の1813年に忽然として他界した。その後 Romberg は Hufeland の絶大な影響を終生受けた。

Romberg は1842年に Poliklinik の第3代所長に就任した。この頃『Lehrbuch der Nervenkrankheiten des Menschen』を発行した(1840~1846)。この著は、世界最初の系統的な神経病学書であり、1852年には改定第二版、

1857年には改訂第三版が出版された。

Romberg は1865年に Poliklinik を退任し、その長は Wilhelm Griesinger (1817~1868) が後継者となった。

Romberg の門下には神経学者としてこのほか、Friedreich, Hitzig, Wernicke などたる神経学者が輩出した。

(2) Nikolaus Friedreich (1825~1882)

Friedreich の家庭は三代にわたり医学部教授が続いた。すなわち、祖父の Nikolaus Friedreich、父の Johann Baptist Friedreich はともに Würzburg などの教授をつとめた。

神経学者の Friedreich は Würzburg 大学在学中に Heidelberg 大学へ Henle について神経学を学び、1849年に Virchow が Würzburg 大学に着任後は Virchow から病理学を教えられた。Romberg からの影響も大きく受け、Romberg 教授の学位取得五十周年記念の催しには参加者の中に名を連ねている。

彼の多くの業績の中で、今日冠名疾患となっている「Friedreich 家族性運動失調症」の研究 (1876, 1877) は、

Heidelberg 大学教授時代になされたもので、神経病学と神経病理学の両分野を統合した歴史的名著である。

(3) Wilhelm Heinrich Erb (1840~1921)

Erb は Heidelberg 大学を卒業後、同大学内科学教授 Friedreich のもとで、最初は広く内科疾患の研究に従事した。師の Friedreich とともに家族性運動失調症の調査に従事したことから神経学へ傾倒し、Leipzig 大学 Neurologische Klinik の所長を経て、Friedreich の後継者として1883年から Heidelberg 大学内科教授に就任した。筋、末梢神経、脊髄などの疾患について精力的な研究を行い、「ドイツ神経学の父」と称されている。

演者らは、Romberg の子孫と文通し、その遺品を Zürich 大学を見ることができた。また、Friedreich の墓碑を近年確認した。Erb に関しては、その出生地 Winnweiler にある Wilhelm-Erb-Gymnasium を訪れ、そこに保管されている遺品などを調べる機会を得た。これらの三名の医史跡などを含め報告する。

(1) 公立学校共済組合東海中央病院

(2) 名古屋大学医学部神経内科